

ソーシャルチャンネルのパフォーマンスレポートがGoogle Search Consoleに追加される

Google は、ソーシャルメディア経由のトラフィックを Search Console の分析情報レポートに直接統合する実験的な機能を公開した。

Google は、ソーシャルメディア経由のトラフィックを Search Console の分析情報レポート(Search Console Insights)に直接統合する実験的な機能を公開しました。

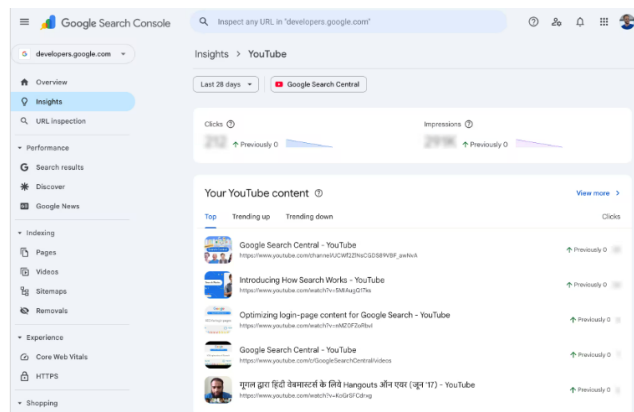
検索とソーシャルチャンネルのパフォーマンスを一元化してレポート

Search Console 内の単一のインターフェイスで、ウェブサイトと関連するソーシャルチャンネルの両方のパフォーマンスを分析できるようになりました。

このレポートにより、デジタルプレゼンスを一元的に把握できるようになり、自動的に識別されたソーシャルプロフィールの主要な指標を、既存のウェブサイトのデータと並べて表示できます。

提供される指標は次のとおりです。

- **総リーチ数:**Google 検索から特定のソーシャルチャンネルへのトラフィックを送ったクリック数と表示回数の合計
- **コンテンツパフォーマンス:**ソーシャルチャンネル内のトップページ、および上昇・下降トレンドにあるページ
- **検索クエリ:**ソーシャルプロフィールへユーザーを導いている主要クエリと急上昇中のクエリ
- **オーディエンスの所在地:**検索結果でソーシャルチャンネルをクリックしているユーザーが多い上位の国
- **追加のトラフィックソース:**画像検索、動画検索、ニュース検索、Discover から受け取った合計クリック数



[サイトに関連付けられた YouTube チャンネルへの検索トラフィックの分析情報レポート]

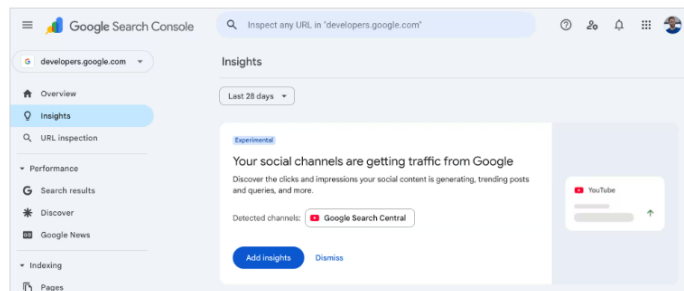
ソーシャルチャンネルのパフォーマンスレポートがGoogle Search Consoleに追加される

Google は、ソーシャルメディア経由のトラフィックを Search Console の分析情報レポートに直接統合する実験的な機能を公開した。

サイトとソーシャルチャンネルの関連付け

サイトに関連するソーシャルチャンネルは Google が自動で検出します。

検出されたソーシャルチャンネルが分析情報レポートにまず提案されるので、問題なければ手動で登録します。



[自動で検出されたサイトと関連する YouTube チャンネル。ボタンをクリックして追加できる]

自動検出なので自分では追加できません。

関連付けの対象となるソーシャルメディアについては公式アナウンスでは言及がありません。

しかし、検索チームの Daniel Waisberg(ダニエル・ウェイブバーグ)氏によれば、次の [3つのプラットフォームから開始](#)されるようです。

- TikTok
- Instagram
- Youtube

X は対象じゃないみたいですね。



ソーシャルチャンネルのパフォーマンスレポートがGoogle Search Consoleに追加される

Google は、ソーシャルメディア経由のトラフィックを Search Console の分析情報レポートに直接統合する実験的な機能を公開した。

【UPDATE (2025/12/10)】

Facebook も対象とのことです。



限定的に提供開始

分析情報レポートでのソーシャルチャンネルのパフォーマンスは、限定された一部のウェブサイトを対象に提供開始されました。

僕はまだ使っていません。

対象になっているかどうかチェックしてみてください。

ソーシャルチャンネルのパフォーマンスレポートがGoogle Search Consoleに追加される

Google は、ソーシャルメディア経由のトラフィックを Search Console の分析情報レポートに直接統合する実験的な機能を公開した。

Search Console 新機能を矢継ぎ早にリリース

2025 年後半になって Search Console の新機能を矢継ぎ早に Google はリリースしています。

- [クエリグループ](#)
- [カスタムアノテーション](#)
- [AI 分析](#)

もう 1 つ[ブランドクエリ フィルタ](#)という新レポートも導入されているのですが、実際に使えるようになるの待っているためブログではまだ紹介できていません。

この記事で紹介したソーシャルチャンネルレポートが今年は最後でしょうか？

さらに追加でもう 1 つ、2 つくらいきそうな予感もします。

Search Consoleパフォーマンスレポートで週ごと・月ごとのビュー切り替えが可能に

Search Console のパフォーマンスレポートを週単位・月単位のビューで切り替えられるようになった。

Search Console のパフォーマンスレポートを週単位・月単位のビューで切り替えられるようになりました。

これまでは、日単位だけでした([24 時間ビュー](#)は時間単位)。

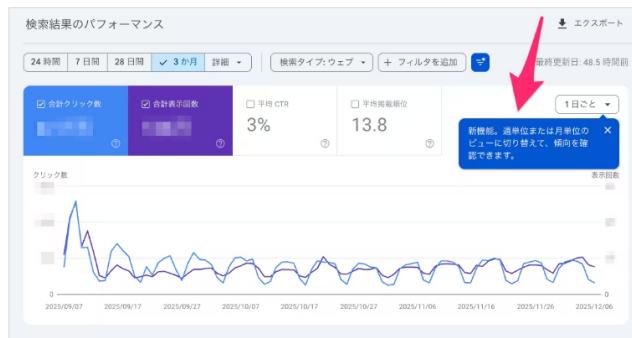
この記事を書いている時点では公式ブログでのアナウンスはまだ出ていませんが、2025 年 12 月 9 日にスイス・チューリッヒで開催された [Search Central Live Zurich](#) で発表がありました。全ユーザーにすでに導入されているはずです。

【UPDATE (2025/12/11)】

公式ブログで[アナウンス](#)が出ています。

週単位・月単位のビューで切り替え

パフォーマンスレポートを開くとビュー切り替えのオプションがついており、新機能としてのメッセージが出ています。

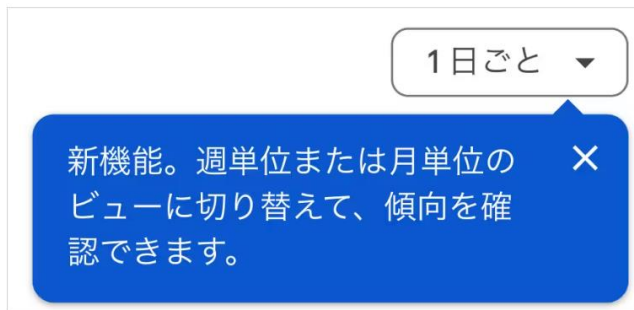


Search Consoleパフォーマンスレポートで週ごと・月ごとのビュー切り替えが可能に

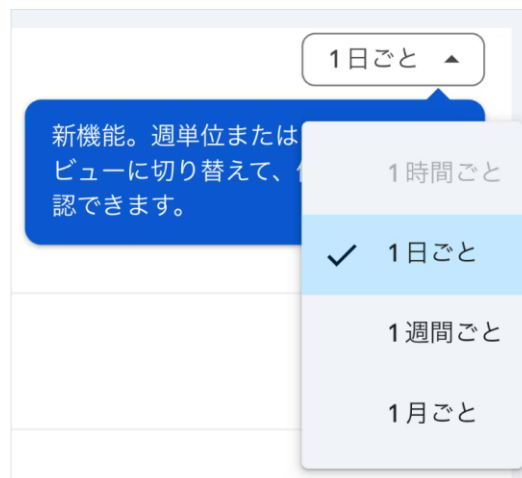
Search Console のパフォーマンスレポートを週単位・月単位のビューで切り替えられるようになった。

次のメッセージです。

新機能。週単位または月単位のビューに切り替えて、傾向を確認できます。



ドロップダウンメニューからレポートのビューの単位を切り替えられます。



Search Consoleパフォーマンスレポートで週ごと・月ごとのビュー切り替えが可能に

Search Console のパフォーマンスレポートを週単位・月単位のビューで切り替えられるようになった。

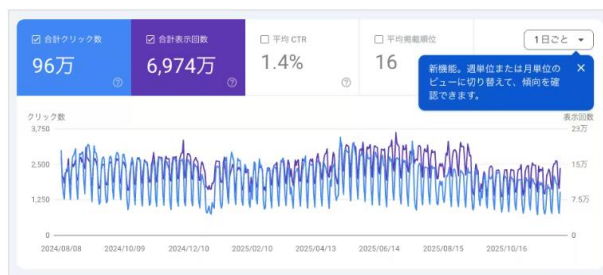
次の 4 つのビューです。

- 1 時間ごと ※「1 時間ごと」を選択できるのは 24 時間ビューのレポートのみ
- 1 日ごと
- 1 週間ごと
- 1 月ごと

あるサイト(僕のブログではない)の過去 6 か月間の検索結果パフォーマンスレポートです。

デフォルトビューの 1 日の設定だと、対象期間が長いときはグラフの起伏が激しくなる場合が多くなります。

こうしたグラフは傾向をつかみにくくします。



「1 週間ごと」ビューに切り替えました。

見やすくなりました。

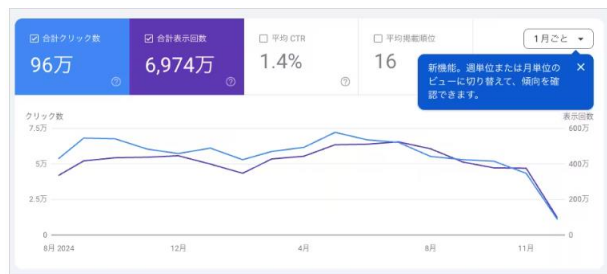


Search Consoleパフォーマンスレポートで週ごと・月ごとのビュー切り替えが可能に

Search Console のパフォーマンスレポートを週単位・月単位のビューで切り替えられるようになった。

「1 月ごと」ビューに切り替えました。

長期の傾向を見るときは月ごとが適しています。



3 つすべてのパフォーマンスレポートでビュー切り替えを利用可能です。

- 検索結果
- Discover
- Google ニュース

ビュー単位切り替えはパフォーマンス分析を効率化するでしょう。

試してみてください。



Search Console の新機能として[ソーシャルチャネルのパフォーマンスレポート統合](#)を昨日紹介しました。

その記事を書いているときにビュー切り替えのメッセージが出ていたので、これも一般公開の新規機能だろうと認識していました。

今年リリースの Search Console 新機能はさすがにこれが最後ですかね。

「小さなコア アップデートでもリカバリはありうる」、Googleがドキュメントに記述を追加

Google は、コア アップデートを説明するドキュメントに小規模なコア アップデートに関する記述を追加した。

Google は、[コア アップデートを説明するドキュメント](#)に小規模なコア アップデートに関する記述を追加しました。

小規模コア アップデートでもリカバリする可能性あり

「[検索結果に効果が現れるまでの所要時間](#)」のセクションに追加されました。

この記事を書いている時点では、[英語版ドキュメントだけが更新](#)されているので、英文を引用します。

強調した段落が追加された記述です。

If you've made improvements, it may take time to see an effect in Search results: some changes can take effect in a few days, but it could take several months for our systems to learn and confirm that the site as a whole is now producing helpful, reliable, people-first content in the long term. If it's been a few months and you still haven't seen any effect, that could mean waiting until the next core update.

However, you don't necessarily have to wait for a major core update to see the effect of your improvements. We're continually making updates to our search algorithms, including smaller core updates. These updates are not announced because they aren't widely noticeable, but they are another way that your content can see a rise in position (if you've made improvements).

日本語訳です(追加段落は僕による)。

改善を行った場合、検索結果に効果が現れるまでには時間がかかることがあります。数日で効果が出るものもありますが、サイト全体が長期的に有用で信頼性の高い、ユーザー第一のコンテンツを提供しているとシステムが学習し、確認するまでには、数か月かかることもあります。数か月経ってもまだ効果が見られない場合は、次のコア アップデートまで待つ必要があるかもしれません。

しかし、改善の効果を見るために大規模なコアアップデートを必ずしも待つ必要はありません。Google は検索アルゴリズムを継続的に更新しており、これには小規模なコアアップデートも含まれています。こうした更新は広く認識されるものではないため発表されませんが、(もし改善を行っていれば)コンテンツの順位が上昇するもうひとつの要因となりえます。

「小さなコア アップデートでもリカバリはありうる」、Googleがドキュメントに記述を追加

Google は、コア アップデートを説明するドキュメントに小規模なコア アップデートに関する記述を追加した。

一段落目では、リカバリには、数か月かかることもあり、場合によっては次回のコア アップデートまで待たなければならないと説明しています。ですが、新規追加された二段落目では、アナウンスされない小規模なコア アップデートでも回復する可能性があると補足しています。

一段落目のコア アップデートは、アナウンスの対象となる広範囲なコア アップデートを指していると解釈するのが妥当です。対して、アナウンス対象とならない小規模コア アップデートでもリカバリがあり得ることを明確にしました。

新しい情報ではない

アナウンスの対象にならない小規模コア アップデートは新しい情報ではありません。

2019 年に公式ブログで公開された[コア アップデート解説記事](#)に関連する言及があります。

大規模なコア アップデートは、数か月ごとに行われる傾向にあります。サイトがコア アップデートの影響を受け、その後にコンテンツを改善した場合、掲載順位が回復する可能性があるのは、次の大規模なコア アップデートのリリース時です。

しかし、Google では常に検索エンジンのアルゴリズムを更新しており、その更新には小規模なコア アップデートも含まれます。一般的に、小規模なコア アップデートは重要な変更を含んでおらず、そのようなコア アップデートのすべてがアナウンスされるわけではありません。それでも、コンテンツの改善が見られれば、小規模なコア アップデートがリリースされたときにサイトの掲載順位が回復する可能性はあります。

ドキュメントは実質的に、この言及と同じことを説明しています。

2021 年にも、当時 Google 検索の広報として Search Liaison のポジションに就いていた Danny Sullivan(ダニー・サリバン)氏は[次のように述べて](#)いました。

小さなアップデートは常に実施しており、広範囲なコア アップデートのアナウンスがなくても順位変動することはいつでもありうる

以前は、コア アップデートのアナウンスでは、「**broad** core update」と表現しており、広範囲・大規模なコア アップデートであることを明示していました。ところが最近では単に「core update」だけになっています。

「broad」の修飾は削除されてしまいましたが、「small」と修飾できる規模の小さなコア アップデートは現在でも断続的に実行されているということです。

「小さなコア アップデートでもリカバリはありうる」、Googleがドキュメントに記述を追加

Google は、コア アップデートを説明するドキュメントに小規模なコア アップデートに関する記述を追加した。

次のコア アップデーはいつ？

2025 年にアナウンスされたコア アップデートは [3 月](#)と [6 月](#)の 2 回です。

今年はこれで終わりでしょうか？

12 月 9 日にスイス・チューリッヒで開催された Search Central Live Zurich で John Mueller(ジョン・ミューラー)氏は[次のようにコメント](#)したとのことです。

将来的にコア アップデートがあるだろうが、今後数週間のうちに実施されてもおかしくはない。ただし、(クリスマス)休暇前には来ないことを願っている。

もし今年もう一度コア アップデートが実施されるとしたら、来週いっぱいでしょうか。

昨年チューリッヒでの Search Central Live では、[より頻繁で高速、小規模なコア アップデートに移行する構想](#)が触れられていました。

今年はもうコア アップデート実施がなかったとしたら、この構想が実行に移されているからかもしれませんね。

Google、2025年12月のコア アップデート（December 2025 core update）をロールアウト。年内いっぱいには順位変動の可能性あり

太平洋時間の 2025 年 12 月 11 日に December 2025 core update(2025 年 12 月のコア アップデート)の展開を Google は開始した。

太平洋時間の 2025 年 12 月 11 日(日本時間では 2025 年 12 月 12 日)に December 2025 core update(2025 年 12 月のコア アップデート)の展開を Google は開始しました。

今年 3 回目のコア アップデートで、前回の [2025 年 6 月のコア アップデート](#)から 6 か月少々の間隔が空いています。

通常のコア アップデート

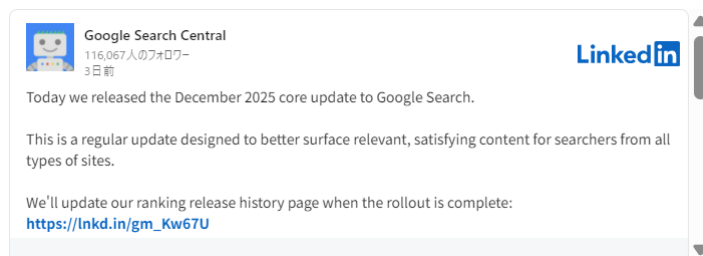
通常のコア アップデートとのことで、特筆すべき情報は共有されていません。

本日、Google 検索に 2025 年 12 月のコアアップデートをリリースしました。

これは、あらゆる種類のサイトから、検索者にとって関連性が高く満足度の高いコンテンツをより適切に表示するための、通常のアップデートです。

ロールアウトが完了次第、ランキング更新履歴ページを更新します：

<https://status.search.google.com/incidents/DsirqJ1gpPRgVQeccPRv>



いつものコア アップデートと違うところをいって挙げれば、完了までに最長で 3 週間かかることでしょうか(ステータスダッシュボードに記載あり)。

一般的には 2 週間が多いです。

とはいえ、最近のコア アップデートは 2 週間より長いことも珍しくありません。

2025 年 6 月のコア アップデートも最長 3 週間との通知でした(最終的に展開完了したのは 17 日後)。

Google、2025年12月のコア アップデート（December 2025 core update）をロールアウト。年内いっぱいは順位変動の可能性あり

太平洋時間の 2025 年 12 月 11 日に December 2025 core update(2025 年 12 月のコア アップデート)の展開を Google は開始した。

伏線ののちの広範囲コア アップデート？

昨日の記事で、アナウンスされない[小規模なコア アップデートでもリカバリ](#)はありうると、ドキュメントが更新されたことを紹介しました。

今回のコア アップデートは明確な言及こそないものの、「広範囲なコア アップデート（broad core update）」です。

また、スイス・チューリッヒで今週開催された Search Central Live で、John Mueller(ジョン・ミュラー)氏は「今後数週間のうちに実施されてもおかしくはない」と実行を仄めかしてさいました。

考えすぎかもしれませんが、ドキュメント更新やミュラー氏の発言は、コア アップデート開始の伏線だったのかとも勘繰ってしまいます。

なににせよ、年内いっぱい展開が続く可能性があります。

何事もなく年を越えることを祈りましょう。

なおこの記事を書いている時点では、ほとんどのランキングチェックツールは目立つ変動を示していません。

Google、Preferred Sourcesをグローバル展開。トップニュース枠でのクリック数が2倍に

Google は、いくつかの新しい AI 機能を導入済み、もしくは導入予定だ。

Google は、いくつかの[新しい AI 機能](#)を導入済み、もしくは導入予定です。

ユーザーとウェブコンテンツを繋げるための新機能

自分の目的に合ったウェブコンテンツを検索で見つけやすくするために新しい検索機能は次のとおりです。

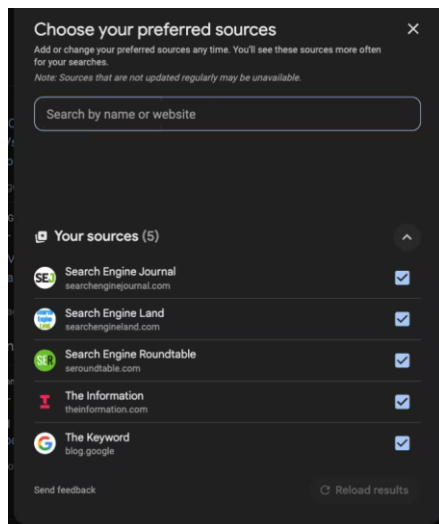
どれも AI 技術を用いています。

Preferred Sources のグローバル展開

Preferred Sources(優先ソース)は、トップニュースに表示するコンテンツが選択したパブリッシャーやサイトからより多く表示されるようにカスタマイズできる機能です。

これまでは、米国とインドでの提供でしたが、英語ユーザー向けにグローバルでリリースします。

対応言語は来年初頭に順次追加予定です。



トップニュースに優先表示するサイトを Preferred Sources で指定

Google、Preferred Sourcesをグローバル展開。トップニュース枠でのクリック数が2倍に

Google は、いくつかの新しい AI 機能を導入済み、もしくは導入予定だ。

ユーザーが Preferred Sources を選択すると、そのサイトへのクリック数は平均して 2 倍になるとのことです。

Preferred Sources の詳細はこちらの記事で確認できます。

- [お気に入りのニュースサイトをトップニュース枠で優先掲載する「Preferred sources」をGoogleが試験公開](#)
- [Google、Preferred Sourcesを米国とインドで正式公開。登録したニュースサイトをトップニュース枠で優先掲載](#)

購読ハイライト

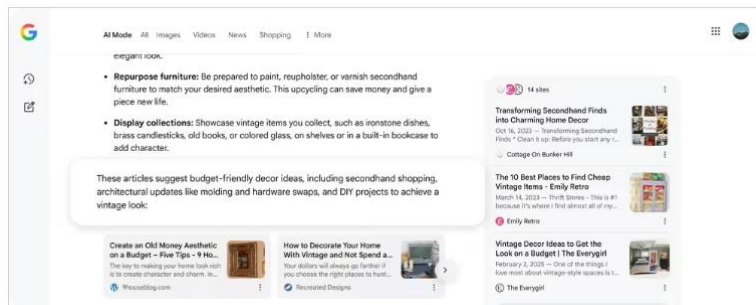
ユーザーが有料購読しているニュースからのリンクを強調・優先表示し、専用のカルーセルで提示します。

まずは Gemini アプリで提供を開始し、その後 AI Overview と AI Mode へ展開します。

AI 検索体験におけるリンクの改善

AI Mode でインラインリンクを増やし、実用性を高めるデザインに刷新します。

各リンクがなぜ関連しているのかを説明する短い文脈的な導入文を表示します。



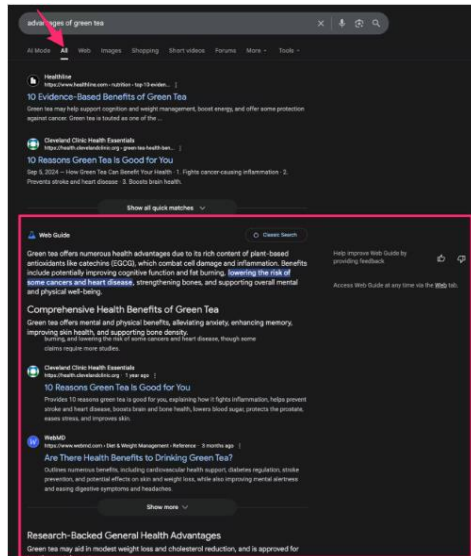
Google、Preferred Sourcesをグローバル展開。トップニュース枠でのクリック数が2倍に

Google は、いくつかの新しい AI 機能を導入済み、もしくは導入予定だ。

Web Guide の拡張

Web Guide(ウェブガイド)は、複雑な検索向けに AI が整理したリンクグループを提供する機能です。

処理速度が従来の 2 倍になり、実験に参加しているユーザーには[すべて]タブでより頻繁に表示されます。



All(すべて)タブでの通常のウェブ検索結果。オーガニック結果は上位 2 位のみで、その下は Web Guide の結果

Web Guide の詳細はこちらの記事で確認できます。

- [検索結果をトピックごとにAIが分類するWeb GuideをGoogleが試験公開](#)
- [Web Guideをデフォルトの検索結果にするテストをGoogleが展開中](#)

Google、Preferred Sourcesをグローバル展開。トップニュース枠でのクリック数が2倍に

Google は、いくつかの新しい AI 機能を導入済み、もしくは導入予定だ。



これらのアップデートは、AI を活用したニュース体験を、よりパーソナライズされ、透明性が高く、実用的なものにしようとする Google の強い姿勢を示しています。信頼できる情報源や購読コンテンツ、分かりやすいリンクを重視することで、ユーザーが情報を理解し、探索しやすくなります。

特に Preferred Sources のグローバル展開 は、SEO 担当者やパブリッシャーにとって非常に重要です。初期データでは、選択されたサイトへのクリック数が平均で 2 倍になることが示されているためです